

大分教育事務所訪問②-16 (計 89)

臼杵市立下南小学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

学校の教育目標を達成するために、「学校評価の4点セット」のそれぞれの取組について、教職員等の実施率と取組状況、子どもの達成状況と検証、改善策が明確に示されています。特に、検証の分析が客観的に行われており、そのため改善策が具体的となっているので、実効性のある検証・改善サイクルとなっています。

今後は、本校が育成を目指す資質・能力である「読解力」「表現力」について、まずは教職員で協議を行うことで、「本校でいう『表現力』とは・・・である」と、その言葉の定義を明確にされてみてはいかがでしょうか。そのことで、4点セットの各取組が、「読解力」や「表現力」の視点を意識した実践となり、本校の目指す子ども像に近づくことでしょう。また、定義をする際には、地域や保護者の方とも熟議等を行うと、より協働的な取組が行われると思います。

※参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp.47-53

(2)教科等横断的な視点に立った資質・能力 ア言語能力」

授業から学ぶ

どの授業も、意欲的に学ぶ子どもの姿が見られました。特に、6月に飛込授業をさせていただいた、3年生と4年生の子ども達が劇的に変化し成長したことがうれしかったです！先生方の地道な実践の成果でしょうね。

また、5年生の逆上がりでは、みんなが拍手をして応援したり、アドバイスをしたりする姿は、本校が目指す「自分には良いところがある」の実践でしたね。さらに、6年生外国語は子どもが主体となった活動でした。教室に掲示していた、係活動の様子や、宮沢賢治さんへの手紙の文章の量とその内容は、正に本校が目指す「読解力」「表現力」のお手本だと感じました。

今後は、本時の姿である「振り返り」を、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」で表しながら、互見授業などでお互い協議することをとおして、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になると感じました。



NO.397 2021年10月 臼杵市立下南小学校

やさしい子

友達の良さを見つけ認めることができるから、自分の良さも見えてくる。



NO.399 2021年10月 臼杵市立下南小学校

かしこい子

自分の考えを発言する。友達の発表と自分の考えを比べて、共通点や違いを見つける。そして、新しい考えを生み出す。



NO.396 2021年10月 臼杵市立下南小学校

たくましい子

最初からできる人はいない。何度もチャレンジするからできるようになる。そこには、応援してくれる友達がいる。



NO.395 2021年10月 臼杵市立下南小学校

切磋琢磨

競い合うから共に成長する。認め合うから深く学べる。